

フレンズ通信

Friend News No.24



フレンズインタビュー ラッキーライラック

～この人がいれば安心！！幅広くオールラウンダーとして活躍するひと～

今回のラッキーライラックは、北7階病棟 足立裕子さん です。

足立さんは、これまでに様々な部署で働き、幅広い知識と技術を身に着け、患者さんだけではなく多くのスタッフからも信頼される、「ジェネラリスト」です！
そんな足立さんに看護やスタッフと関わる上で大切にしていることについて伺いました！



これまで経験した部署を教えてください

心臓血管外科、小児科、呼吸器アレルギー内科、コロナ病棟、耳鼻咽喉科

これまで担ってきた役割を教えてください

実習指導者、実地指導者、教育担当者

看護をする上で大切にしていることを教えてください

「患者さん・家族に寄り添うこと」です。患者さん、家族の気持ちを伺い、心身共に必要なケアを提供したいと思っています。その為には、私一人では何もできません。看護スタッフ・医師・薬剤師・退院支援係の方々の協力が得られるように調整することも大切にしています。

スタッフと関わる上で大切にしていること、心がけていることを教えてください

「言葉」には気を付けています。「言葉」は大きな力を持っていると思います。自分の考えが正しく伝わるように、相手が不快に思わないように「言葉」を選んでいきます。他には、「感謝を忘れない」ようにしています。周囲の皆さんの指導・援助がなければ今の私はありません。

至福のひと時を教えてください

愛猫とまったりしている時です。

ご自身の性格を一言で教えてください

家族曰く、「大雑把」だそうです。
私としては、快活でおおらかだと思っています...

患者さん・家族に寄り添い、多職種連携を大切に看護を実践している足立さんでした！



師長さん、スタッフの皆さんと一緒に☆

新師長インタビュー

～師長にもこんな一面があります！皆さんに新師長を知ってもらおう！！～



4月より師長になられた、3人の師長さんにいろいろと聞いてみました♪

新人の頃の失敗談を教えてください

長嶋：深夜で1時に休憩に入り、気づいたら3時半だった…急いで詰所に戻ってきたら、「たくさん眠れてよかったね、長嶋くん」と言われ、しばらくその先輩の顔を見れなかった。

松本：センサーマットを適切な場所に設置してはず、患者さんが看護室の前を勢よく走り抜け、他病棟に行ってしまった。

川村：ストレッチャー浴の時に、浴槽にセットする向きがわからず、患者さんが乗っているのにクルクル回ってしまった。

新人の頃の初めての夜勤はどうでしたか？

長嶋：初めての深夜で過緊張のあまり、重症患者部屋に足を踏み入れた瞬間から10分くらい記憶喪失になった。先輩から「おい、ちょっと部屋の真ん中で何止まってんだ?!」と言われて我に返ったこと。

松本：先輩から「私、靈感があるの。今おかつぱの女の子が看護室前でこっちを見てるわ」と言われ震えあがっていた時、患者さんが眠剤希望で来看され、ガラス越しにずっとこっちを見ていた。怖かったのと面白かったのとでギラギラして仮眠できなかった。

川村：ターミナルの方に何もできず、途中で先輩が担当を変わってくれた。自分の無力さを感じた。

師長としての初めての当直はどうでしたか？

長嶋：目の前の電話がいつ鳴るのか怯えつつ、鳴った時のことを考えて、夜中の2時に「はい、看護部管理室当直師長の長嶋です。」を3回は立ち上がり練習した。

松本：何をしても落ち着かず、何度も当直PHSが鳴っていないか確認しては、そわそわした一夜を過ごした。ようやく朝になり日勤さんが来た時の安堵感は忘れられない。

川村：一人でいることがとにかく不安で、何事も起こりませんようにと祈る気持ちだった。廊下を歩く時は、静かすぎてとてもドキドキした。

ご自身を電化製品に例えたと何ですか？理由も教えてください

長嶋：古いカセットコンロ 理由：焚きつかれても簡単には火が付かない性格

松本：保温機能のない電気ケトル 理由：スイッチが入ると急に活発になり、これまで様々な趣味や習い事(茶道・着付け・スキーインストラクター・1級船舶免許・スノースクート・ヨガ・釣り・登山…)に手を出してきたが保温機能がないため、今現在まで続けているものはない

川村：音量調整のできないスピーカー 理由：どんなに気を付けていても音が大きくなってしまふ

スタッフへ一言お願いします

長嶋：最近物忘れが多く、皆さんにご迷惑をおかけしますがどうぞよろしくお願い致します。

松本：心配性ですが大雑把なところもありアンバランスな性格ですが、感謝の気持ちを常に持ち続け、これまでたくさん戴いたものを少しずつお返ししていきたいと思っています。よろしくお願い致します。

川村：皆さんが健康に楽しく仕事ができるようワークライフバランスを大切に少しでも働きやすい環境となるようにしていけたらと思います。よろしくお願い致します。

「学生看護助手アルバイト」皆さん知っていますか？

令和5年より保健医療学部看護学科の学生を対象に看護助手アルバイトが開始となりました。

看護助手さんと共にベッドメイキングや配膳・清掃などを行い、これまでに延べ16名の学生がアルバイトを経験しました。

アルバイト経験者からは、「実習でベッドメイキングなどの技術を自信をもってできた」「アルバイトで身についた時間管理のスキルが働いてから活かされている」などの声があり、実習・就職後の看護実践でアルバイト経験が役立っているようです。

皆さんの部署にも、助手アルバイトとして学生が来るかもしれません
その際は、チームメンバーとして温かく迎えてください😊



札幌医科大学附属病院 看護キャリア支援センター

TEL 011-611-2111 内線:23190

Mail career@sapmed.ac.jp

URL <http://web.sapmed.ac.jp/career/>

7月19日には、学生の頃に助手アルバイトを経験した新人看護職員と学生との交流会が開催されました

